

「会報」発行に寄せて



苫東立地企業懇話会 会長
いすゞ自動車株式会社 北海道工場長 高見 健三

本年4月に発足致しました「苫東立地企業懇話会」は、株式会社苫東さんの適切なコーディネートと会員各企業の御協力をいただいて、順調に計画的諸活動を展開しております。この様な背景の中で、先般、議事により御賛同を得ました「会報」を発行することになりました。会合や各種イベントに参画されてのコミュニケーションづくりにとどまらず、今後はこの「会報」を通じてさらなる会員各企業の業務内容や代表の方々との相互理解を深めるとともに、懇話会活動そのものの運営や活用の有効度向上にも繋げていきたいと思っております。

企業をとりまく経営環境は、未だ極めて厳しいものがあり、経営に携わる私たちの先行き不透明感は、今後も続くことが予想されます。この会報が模索の中での一筋の光明となり、また新たなビジネスモデルの構築や補完に繋がることも期待しております。

あたたかい御指導と厳しい視野で、「会報」を見守り、かつ育てていただくことをお願い致します。

以上



苫東立地企業懇話会 副会長
エイト建設株式会社 代表取締役会長 矢部 幸一

この度の苫東立地企業懇話会が二つの組織の合併により、統一組織となりましたことは株式会社苫東のお力添えと共に加盟企業の皆様のご理解の賜ものと心よりお礼申し上げます。苫東の発展は苫小牧市は勿論のこと、北海道、ひるがえっては日本の発展のための大きなキーワードとなって参ります。これからの苫東開発は東港、西港、さらには新千歳空港と有機的に結びつき、国の規制緩和の動きを見定めながら、独自性、特性を全面に打ち出した展開をしていかななくてはなりません。その意味において組織統一はただ単に加盟企業数が多くなり、大きな組織となったということにとどまらず、会の主旨を力強く推進することによりまして、企業間の親睦を計ると共に、ビジネスチャンスを拡大し、今後の進出企業も含めて共に助け合っていける体制を構築し、地域社会に貢献し、よって苫東及び加盟企業の発展に大きく寄与していくものであります。

今後とも皆様方のご理解、ご協力を重ねてお願いし、広報誌発刊に当たっての言葉といたします。

以上



苫東立地企業懇話会 事務局
株式会社 苫東 代表取締役社長 小林 董和

苫東地域の開発と環境の保全につきまして、会員の皆様には日頃から特段のご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

今、北海道の経済はかつて経験したことのない厳しい状況にあります。これまで公共事業に依存していた道内経済は待ったなしの変革を求められています。

こうしたなか、苫東を取り巻く状況としては、空港や港湾、道路網などのインフラの一層の整備が進んでいることに加え、リサイクルポートの指定、自動車リサイクル立地推進協議会の発足、経済特区指定へ向けての活動など、民間主導の自立型経済に向けての力強い動きも見られます。

本年4月、臨海地区と柏原地区の懇話会が合併し、新たに「苫東立地企業懇話会」が発足しました。この度の懇話会会報の発刊は、会員各位が情報を共有し、相互理解を深めるのに約立つものと期待しております。

それにより、苫東地域がより活性化し、それが北海道発展の一助になればと願っております。会員の皆様のますますの御繁盛をお祈り申し上げ創刊の御挨拶といたします。

以上